

業務におけるAI活用のルール作り

ChatGPT、Adobe FireflyなどAIを用いたサービスが多く出現しました。

利用による業務の効率化が喧伝され、すでに業務に活用されている会社さまも多いでしょう。

しかし一方で**個人情報保護違反**、**機密情報保護違反**、または**知的財産関係のトラブル**も生じてきているところ。約款型外部サービスではトラブル発生時の責任の所在があきらかではありませんし、また、シャドーITを防ぐには事前のルール策定が必須です。

業務効率化とコンプライアンスの調整はそれぞれの会社によって異なってきますのでご担当者の方々は頭を悩ませておられるのではないのでしょうか。

今回はトラブル実例をあげてどのようなルール作りをしていけばいいのか検討する予定です（この文章はAI生成ではありません）。

【日時】 2023年12月9日(土)14:00～15:30

【受講料】 無料

【開催方法】 ハイブリッド型（対面もしくはオンライン）

<対面ご参加の場合の会場> 甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階

※会場は神戸のキャンパスではありませんのでご注意ください。

※甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所にて受講する方法(対面)と、ご自宅からZoomで受講する方式(オンライン)をお選びいただけます。



会場アクセス



<講師> 弁護士、弁護士法人 貴陽 代表 井上 陽氏

1971年生まれ。京都大学法学部中退。甲南大学法科大学院卒業。

IT関係から弁護士に転身したのは40歳。弁護士以外の業務経験があるのが強み。暗号化通貨、SNSトラブルなど最先端の法的問題を取り扱う一方、法改正にいち早く対応しつつ相続や交通事故についても取り扱う。弁護士以外では、技能実習、不動産、派遣会社などにも関わっている。趣味は子ども向け自然観察会でインストラクターをすること。



<ファシリテーター・司会>

甲南大学特別客員教授・名誉教授 渡辺 顕修 氏

1953年生まれ。京都大学法学部、同大学院法学研究科を経て、刑事訴訟法の研究者の道に入る。2004年4月から2020年3月まで甲南大学法科大学院長。現在、甲南大学特別客員教授、名誉教授、法学博士（京都大学）。学者として「渡辺修」をペンネームとし、『現代の刑事裁判』（成文堂、2014年）や三省堂・模範六法編集委員などの業績がある。新聞・テレビの刑事裁判報道の際簡単なコメントをする仕事も手がける。大阪で、刑事専門の弁護士として活動中。



お申込み

【お申込み】 <https://www.konan-u.ac.jp/hp/redirect/nctokyo-2023-02.html>

申込受付期間：2023年10月30日(月)～ 11月30日(木)

甲南大学 国際都市・神戸にあるミディアムサイズの総合大学
1919年に創立された甲南学園を母体とする甲南大学。学園創立者・平生鈺三郎が掲げた教育理念「各人の天賦の特性を伸長させる人物教育率先」は今日まで脈々と引き継がれ、経済界をはじめ各界で活躍する卒業生を輩出してきました。人文・自然・社会科学の学問分野の広がり「ミディアムサイズの総合大学」の特長を生かした教育で、個性を尊重した人物教育を展開していきます。

お問い合わせ先：甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階
Email : nctokyo@adm.konan-u.ac.jp / TEL : 03-6266-9520